

令和6年度 まちの予算

令和6年度予算の概要をお知らせします

これまで、財政収支の改善に取り組んできた成果として、令和4年度決算では2年連続で一般会計の実質単年度収支が黒字となりました。

新年度予算は、人口減や経済の活性化策を切れ目なく推進することが求められていることから、計画的に推進してきた施策については計上しています。

**施策を計画的に展開し、
「笑顔と活気あふれる持続可能なまちづくり」を着実に推進します。**

各会計の予算額

会 計 名		令和6年度	令和5年度 (当初)	比 較	増減率
一 般 会 計		55億9,500万円	51億5,300万円	4億4,200万円	8.6%
特 別 会 計		8億5,280万円	8億7,580万円	△2,300万円	△2.6%
内 訳	国民健康保険	4億120万円	4億2,000万円	△1,880万円	△4.5%
	後期高齢者医療	6,160万円	5,590万円	570万円	10.2%
	介 護 保 険	3億9,000万円	3億9,990万円	△990万円	△2.5%
公営企業会計※		7億9,890万円	6億3,040万円	1億6,850万円	26.7%
内 訳	簡易水道事業	3億8,829万円	3億7,640万円	1,189万円	3.2%
	集落排水事業	4億1,061万円	2億5,400万円	1億5,661万円	61.7%
合 計		72億4,670万円	66億5,920万円	5億8,750万円	8.8%

※簡易水道事業及び集落排水事業は、令和6年度から公営企業会計移行のため単純比較とはなりません。

全会計総額は72億4,670万円で、前年度と比べると5億8,750万円増加しています。主な増加要因は、一般会計における**壮瞥中学校の移転整備事業費**や**電算機器類の更新**、**昨年オープンのリゾートホテルへの雇用助成金等の増**によるほか、**公共施設の維持管理経費の増加**などです。

一般会計歳入 (図一1)

町税は、入湯税の増収を見込み、2,166万円増の4億4,376万円としています。

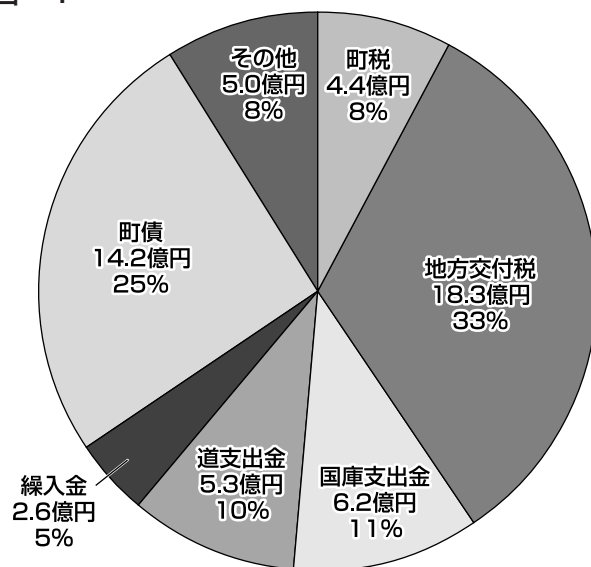
地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、4,000万円増の18億3,000万円としています。

国庫支出金は、公立学校施設整備費負担金の増加などにより、2億2,445万円増の6億1,611万円となりました。

町の基金(貯金)からの取り崩しである繰入金は、2,888万円増の2億5,551万円で、財政調整基金の取り崩しは5,000万円増の1億9,000万円となりました。

町債は、壮瞥中学校建替事業の増加などにより、1億4,200万円増の14億2,200万円の借り入れを予定しています。

図一1



一般会計歳出（図-2）

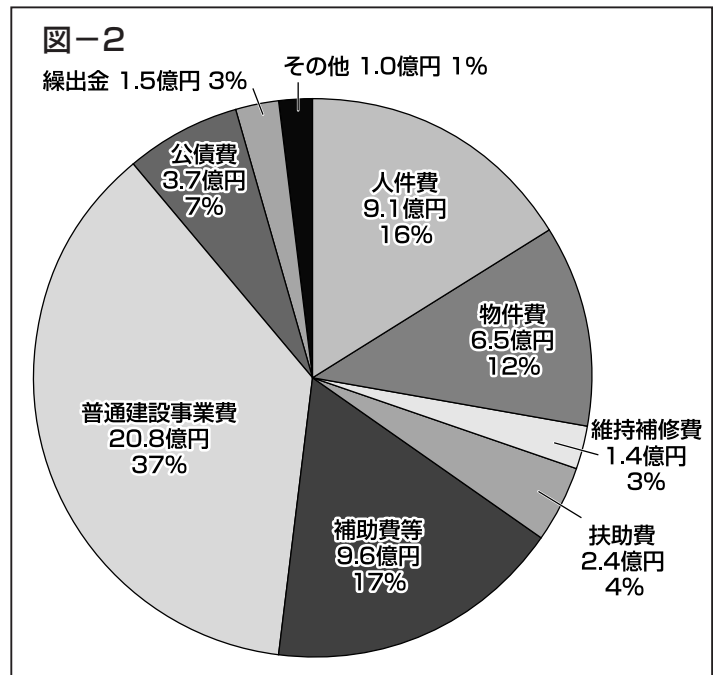
右図は、性質別に歳出を分類したものです。

人件費は、職員退職手当組合納付金の増等により前年度から7,125万円増の9億1,191万円としています。

普通建設事業費は、大型事業の増加に伴い、前年度から3億7,213万円増の20億7,513万円としています。

公債費は、借り入れた町債の返済で、234万円減の3億6,620万円としています。

返済額は元金の減と利子の増により、横ばいとなっています。



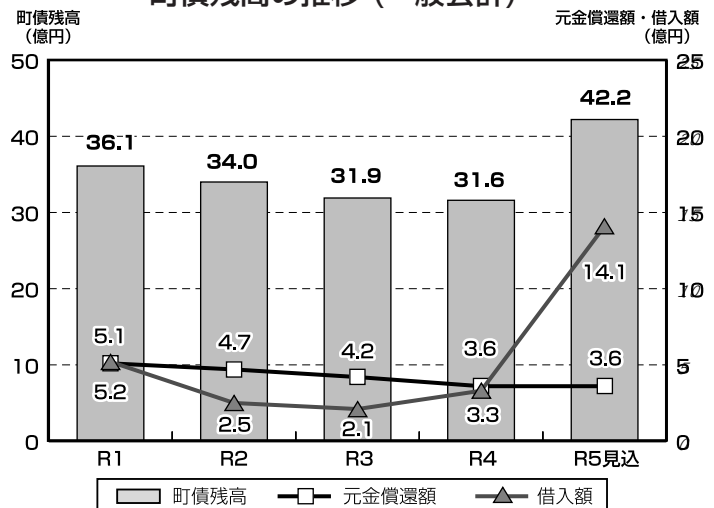
町債（まちの借金）残高の推移

町債残高は、壮瞥中学校建替事業や新中間処理施設建設事業などの大型事業の実施とともに、国道や道道の支障物件移設事業の増などにより、令和5年度決算では増加する見込みです。

令和6年度も壮瞥中学校建替事業の本格的な着工や町道整備事業などの実施により、令和5年度と同程度の借り入れを予定しており、町債残高が増加する見込みです。

町債の多くは、償還（返済）額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。

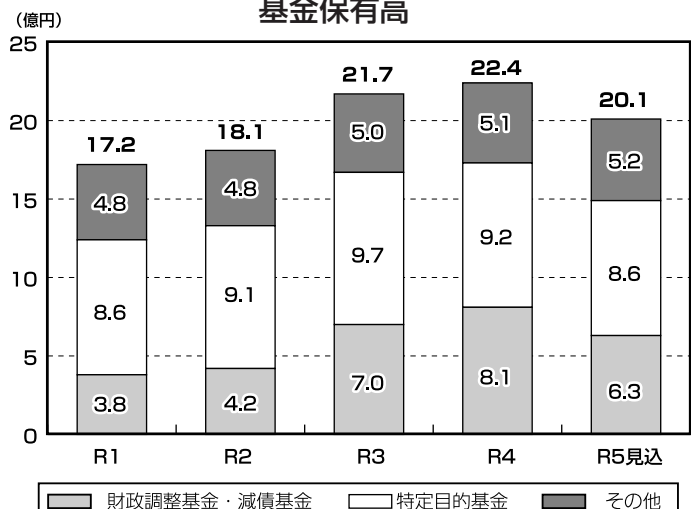
町債残高の推移（一般会計）



基金（まちの貯金）保有高の推移

令和元年度から、歳出予算の精査、既存事業も含めた財源の活用など、収支不均衡の改善に向けて取り組んだ結果、令和4年度決算では基金保有高が3年連続で増加しました。財政改善の成果を踏まえ、令和5年度から、壮瞥中学校建替など、まちの将来に必要な投資を積極的に進めていることから令和5年度末保有高は減少する見込みとなっています。

基金保有高



本町が持続的に発展するために必要な施策を計画的に推進できるよう、安定的な財政基盤を確立し、将来を見据えた社会資本整備を推進します。

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係（☎0142-66-2123）